

【学校教育目標】よく考え、心豊かで、ねばり強い子どもを育てる

菊作り 菊見るときは 陰の人

校長 山形 幸司

2学期がスタートして3週間ほどたちました。ひとまわり大きくなって学校に戻ってきた子供たちも、日々元気に学校生活を送っています。

先日、小濱健一さんから、子供たちや職員に、菊の花のプレゼントがありました。聞けば毎年いただいているようで、本当に有り難く思います。

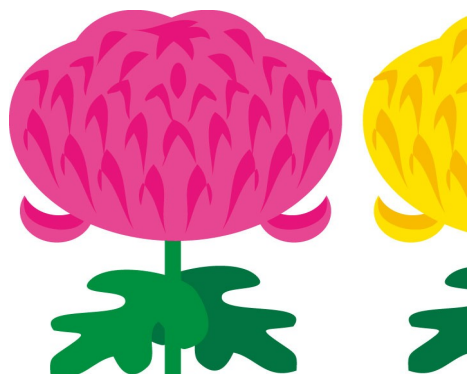
その菊の花を見ながら、タイトルにも挙げた「菊作り 菊見るときは陰の人」の言葉を思い出しました。

この言葉は、作家の吉川英治さんの言葉とされています。見事に咲き誇る菊の花を人々が称賛する時、その陰には、季節を問わず土を耕し、手間ひまをかけて慈しみ育てた菊作り（育てた人）の存在があるという、菊作りの人の存在を詠んだ句ですが、転じて、親が子供を育てることの比喻としてもよく使われます。私の父もよく使っていたので、度々聞かされていました。

子供たちは、日々の生活の中で、学校行事や勉強、習い事など、様々な舞台上で輝く瞬間があります。これから先、5年後、10年後、さらに成長して、輝きを増していくことと思います。一方で、子育ての毎日は、喜びだけでなく、日々悩みや心配の連続で、不安もあるかと思っています。しかし、そのような親の労力や愛情が、子供たちの心の根を深く張り、成長を支えているのだと思います。

子供たちが将来、大きな花、自分らしい花を咲かせることを願いつつ、保護者の皆様、学校が「陰の人」となり、時には地域の方々にも力をお借りしながら、子供たちの成長を支えていければと考えています。

2学期も、御協力の程どうぞよろしくお願い致します。



ブログ更新しています！

大隅北小学校のブログ「大隅北の風」を定期的に更新しています。
ぜひ、ご覧ください！

